

奇跡！！ 遺愛吹奏楽局 函館市民会館大ホール 1,370 席完全満席！！

8月7日（日）16:00より函館市民会館大ホールで行われた遺愛吹奏楽局第26回定期演奏会は、立ち見の方も出て（誠に申し訳ありませんでした。）の満席1,370名以上のおお客様が入りました。遺愛吹奏楽局史上初めての市民会館大ホール完全満席です。また、プログラムに寄せられた広告数も333件で、これも過去最高でした。ご支援・ご協力、誠に感謝いたします。

局員達は1週間前に行われた道南地区吹奏楽コンクールにA編成で参加、素晴らしい演奏をし、金賞を受賞しました。代表審査結果は同点の末の審査員による決選投票で、わずか1票の差で惜しくも代表を逃しました。とてもショックでしたが、その悲しみ・悔しさをバネにして、定期演奏会にむけて一生懸命準備し、持てる力を精一杯発揮し、満員のおお客様を魅了する本当に最高の素晴らしいコンサートとなりました。

10年前、第16回定期演奏会では函館市芸術ホール満席842座席中3分の1も埋まっていませんでした。局員達が頑張っているだけに、いつかここがいっぱいにできればと思いました。芸術ホールを満席にすることができないまま、2009年に市民会館大ホールへ定期演奏会の会場を移しました。しかし半分も埋まらない状況が続き、2013年は359名入場者でした。2014年に高久健一先生が新しく顧問となり、生徒・保護者の皆さんおよび同窓生、地域の皆様のご協力・ご支援により大ホールの半分近くの677人が入場しました。さらに2015年には1,212人、そして今年わずか3年で、ついに市民会館大ホール完全満席の1,370名を超えました。信じられないような奇跡です。

高久先生は遺愛の吹奏楽局の顧問になるにあたり局員達と共に、①100人を超えるバンド、②定期演奏会完全満席、③A編成全道大会出場の三つを目標として立てました。3年経たないうちに、すでに①、②をクリアし、そして③は、今年は本当に惜しくも逃しましたが、もう射程距離に入ってきました。

でも遺愛吹奏楽局の究極の目標は全国です。『西の活水、東の遺愛』と言われるようなバンドなることです。長崎にある活水女子高校（遺愛と同じミッションスクールです。）には、かつて福岡の女子校で全日本吹奏楽コンクール8年連続金賞を取り続けた藤重佳久先生がおられます。昨年、赴任早々わずか5ヶ月で、無名の活水を全国大会に出場させました。まさにレジェンドです。その藤重先生とは、昨年秋に高久先生が長崎の活水を訪れて懇意になり、この4月にわざわざ藤重先生が函館に来て指導して下さい、来春、函館で一緒にコンサートができればと語り合っているそうです。

その前に、遺愛吹奏楽局には11月12日（土）12:00～12:15横浜みなとみらいホールで行われる全日本高等学校吹奏楽大会 in 横浜での演奏があります。演奏人数制限がなく、全員で参加できる大会なので、みんなで創り上げ良い演奏をして『西の活水、東の遺愛』と言われる第一歩を踏み出してほしいと願っています。

2016年8月15日（月）



第26回遺愛吹奏楽局定期演奏会の様子